



東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

最新マンスリーecoニュース&トピックス

・最近のニュース

平成22年度の一般ごみ総排出量4,536万トンに減少 1人1日の排出量も976グラムに減少 2012.03.23/環境省

環境省は、平成24年3月23日付けで、平成22年度の全国の一般廃棄物(ごみ・し尿)排出及び処理状況の調査結果についてとりまとめ、公表した。公表によると、平成22年度のごみ総排出量は、前年度の4,625万トンより1.9%減少し、4,536万トン、1人1日あたりのごみ排出量も前年度の994gより1.8%減少し、976gとなった。ごみ総排出量は平成12年度以降継続的に減少し、1人1日あたりの排出量もピーク値の平成12年度から約16.1%減少した。一方、市区町村などによる資源化と住民団体などによる集団回収とを合わせた総資源化量(再生利用量)は、945万トン、リサイクル率は20.8%であった。

環境法改正情報

■地球温暖化対策の推進に関する法律を改正 2012.02.09

廃棄物処理部門における排出抑制等指針を公表するため、告示「事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制等及び日常生活における温室効果ガスの排出抑制への寄与に係る事業者が講ずべき措置に関して、その適切かつ有効な実施を図るために必要な指針」(以下「排出抑制等指針」という)を改正することとした。全ての事業者にとって、廃棄物処理部門における事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項が追加され、取り組みや措置が提示された。

Ecobiz/ecolife エコビズ/エコライフ

いまさら聞けない? 教えて! 「優良性基準適合認定制度」 Series.3

優良性基準適合(産廃エキスパート)にエコエイトが認定されました!

産廃エキスパート



2011年~15年度
中間処理業
認定番号2-11-C0070
収集運搬業
認定番号2-11-B0060S

【産廃エキスパート
ロゴマーク】



【産廃エキスパート認定証】
第一種評価基準適合業者
・専門性評価適合業者
区分:収集運搬業(積替保管を含む)



【産廃エキスパート認定証】
第一種評価基準適合業者
区分:中間処理業



平成24年2月3日(金)に行われた優良性基準適合認定証授与式

罰則と判例

家庭ごみ灰:奈良の産廃業者、神奈川の焼却灰拒否「放射能不安」住民反対で / 神奈川2012.03.24/毎日新聞

神奈川県内の家庭ごみ焼却施設から出た焼却灰を奈良県御所(ごせ)市で埋め立て処分していた同市の産業廃棄物処理業者が、「放射能が不安」という住民の批判で今月上旬から受け入れを中止していたことが分かった。灰の放射性物質は国基準の数十分の1で、焼却灰を搬出した神奈川県の自治体は「拒まれた理由がよく分からない」と困惑している。全国各地で東日本大震災関連のがれきや焼却灰の受け入れが検討されているが、家庭ごみを巡って受け入れ中止になったのは異例。

営業に役立つ
環境用語と豆知識

【エキスパートと
プロフェッショナル】

プロフェッショナルは専門家。エキスパートは熟達者。プロフェッショナルはその作業を専業、職業にしていればそう呼ばれる。エキスパートは中でも熟達者を指す。

走れ! エイトマン

Try for tomorrow
「明日の地球の為に、
今できること」

お客様のために常にお役に立ちたい...。そんな思いを大切にするエイトマンを毎号ご紹介します。

■京浜島リサイクルセンター
佐藤 英幸 氏



京浜島リサイクルセンターの佐藤です。主に飲料缶、PETボトルのリサイクルに携わっています。この仕事をするようになり、資源の有効利用に対する意識が強くなりました。廃棄物業界では、まだまだ未熟者ではありますが、少しでも頼れる兄貴になるように頑張ります。